

第1学年 音楽科年間指導計画及び評価計画

平成28年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
4	よい発声で歌おう	<ul style="list-style-type: none"> 発声の基本を理解し、よい発声で歌おうとする姿勢を身に付ける。 歌詞の内容や曲想を味わい、それに合わせた歌い方で歌う。 〈学習指導要領：歌唱ア〉 〈教材：校歌、We'll Find The Way～はるかな道へ〉	5	歌詞の内容や曲想を生かして、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	歌詞の内容や曲想を味わい、雰囲気を感じ取りながら、音楽表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を、身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
5	旋律のまとまりと構成	<ul style="list-style-type: none"> リズムや旋律、構成などの、音楽を形作っている要素を知覚し、歌唱表現を工夫する。 〈学習指導要領：歌唱ア〉 〈教材：主は冷たい土の中に〉	3	・リズムや旋律のまとまり、強弱の働きに関心を持ち、それらを生かし歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・リズムや旋律のまとまり、強弱を知覚し、曲想を感じ取りながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	・曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
	音の重なり的美しさとアルトリコーダー	<ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダーの基礎的な表現技能を身に付ける。 リコーダーの音色と歌声の重なり的美しさを感じ取って表現する。 〈学習指導要領：器楽ア、イ、ウ、歌唱ウ〉 〈教材：喜びの歌、主は冷たい土の中に、アメージンググレース〉	4	アルトリコーダーの音色や歌声との重なりへの関心を持ち、基礎的な奏法を身につけて演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。		アルトリコーダーの特徴を捉えた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法などの技能を身に付けて演奏している。		授業の取組 実技	定期考査
6	情景と音楽の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や構造と、その音楽が表わす情景との関わりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わう。 〈学習指導要領：鑑賞ア、イ〉 〈映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ」、「春」第1楽章〉	3	音楽を形づくっている要素の働きや、それらと曲想との関わりについて関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素や特質を知覚・感受しながら、それらと曲想との関わりを感じ取って言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	授業の取組 ワークシート	定期考査
7	オーケストラの響きを味わおう	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わう。 音楽の特徴を、その背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて鑑賞する。 〈学習指導要領：鑑賞ア、イ〉 〈教材：オーケストラ鑑賞教室〉	2	音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連について関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、解釈したり考えたりし、鑑賞している。	ワークシート	定期考査
9	混声合唱へのステップ	<ul style="list-style-type: none"> へ音譜表について理解し、混声合唱に取り組む。 声部の役割や旋律の重なり方を感じ取って、全来の響きに気を付けながら合わせて歌う。 〈学習指導要領：歌唱ウ〉 〈教材：パフ、朝の風に〉	5	変声後の男子の声の高さとへ音譜表との関係や声部の役割に関心を持ち、音楽表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。	音の重なり方の特徴や声部の役割、全体の響きを感じ取りながら音楽表現を工夫することに思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
10	音色を生かしたアンサンブルをしよう	<ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダーの音色を生かし、声部の役割や全体の響きを感じ取りながら合わせて演奏する。 〈学習指導要領：器楽イ、ウ〉 〈教材：アメージンググレース他〉	4	ハーモニーの働きと曲のまとまりとの関係に関心を持ち、音楽表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。	ハーモニーの働きと曲のまとまりとの関係を感じ取り、音楽表現を工夫することに思いや意図をもっている。	曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
11	物語を歌で表現する芸術	<ul style="list-style-type: none"> 曲想の変化をもたらす音楽を形づくっている要素を知覚しながら味わって聴く。 〈学習指導要領：鑑賞ア〉 〈教材：魔王〉	2	詩と音楽が一体となっている歌曲の表現効果に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			歌詞に表されている場面の描写や登場人物の心情の変化と旋律や強弱、伴奏の変化との関わりを感じ取って、情景をイメージしながら音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	授業の取組 ワークシート	定期考査
	詩と音楽の関わり ー日本の歌を歌い継ごうー	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って歌唱表現を工夫する。 〈学習指導要領：歌唱ア、イ〉 〈教材：赤とんぼ、浜辺の歌〉	3	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	歌詞と音楽を形づくっている要素とのかかわりを感じ取りながら、曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
12	日本の伝統音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素の知覚を通して日本の伝統音楽の多様性を感じ取る。 〈学習指導要領：鑑賞ウ〉 〈教材：箏曲「六段の調べ」、尺八曲「巢鶴鈴慕」〉 民謡の声や音楽の特徴を感じ取って歌い、民謡の音階を使って旋律をつくる。 〈学習指導要領：歌唱イ、創作ア、イ〉 〈教材：日本の民謡「ソーラン節」、My Melody〉 	2	我が国の伝統音楽に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、我が国の伝統音楽の特徴を感じ取って解釈したり考えたりし、鑑賞している。	授業の取組 ワークシート	定期考査
		3	曲種に応じた発声、言葉の特性に関心をもち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 民謡音階の特徴に関心をもち、音楽表現を工夫して簡単な旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	民謡の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 リズム、音のつながり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、民謡音階の特徴を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて歌っている。 民謡音階の特徴を生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組み合わせ方、記譜の仕方などの技能を身に付けて簡単な旋律をつくっている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査	
1	混声合唱へのステップ —様々な 曲想の表現—	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。 〈学習指導要領：歌唱ア、ウ〉 〈教材：合唱コンクール課題曲、自由曲、卒業式歌〉 	10	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
2									
3	アジアの音楽の魅力を求めて	<ul style="list-style-type: none"> アジアの音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って鑑賞する。 〈学習指導要領：鑑賞ウ〉 〈教材：アジアの諸民族の音楽〉 	1	アジア地域の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、アジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。	授業の取組 ワークシート	
年間合計時数			47	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					

第2学年 音楽科年間指導計画及び評価計画

平成28年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
4	よい発声で歌おう	<ul style="list-style-type: none"> 発声の基本を理解し、よい発声で歌おうとする姿勢を身に付ける。 歌詞の内容や曲想を味わい、それに合わせた歌い方で歌う。 全体の響きを感じ取って合わせて歌う。 〈学習指導要領：歌唱ア、ウ〉 〈教材：校歌、夢の世界を〉	4	形式や音の重なり方などの特徴から、曲想の変化を感じ取って音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に、主体的に取り組もうとしている。	形式や音の重なり方などの特徴から、曲想の変化を感じ取り、音楽表現を工夫してどのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
5	アカペラの魅力	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな歌声の特徴を知覚し、それらによる味わいの違いを感じ取る。 声だけで美しいハーモニーを表現する。 〈学習指導要領：鑑賞ウ、歌唱イ、ウ〉 〈教材：夢の世界を、アカペラの合唱曲〉	2	<ul style="list-style-type: none"> 歌声の特徴に関心を持ち、それらによる味わいの違いを感じ取って鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 自分の歌声やアカペラのハーモニーに関心を持ち、それらを生かした音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい音程で美しいハーモニーができるように工夫し、曲にふさわしい歌声でどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲にふさわしい歌声、正しい音程で音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌声の特徴を知覚し、それらによる味わいの違いを感じ取って、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
	和音の音を使って旋律をつくらう	<ul style="list-style-type: none"> 和音の移り変わりを感知取って、表現を工夫しながら旋律をつくる。 〈学習指導要領：創作ア、イ〉 〈教材：My Melody〉	2	<ul style="list-style-type: none"> 和音の移り変わり、曲の構成、全体のまとまりなどに関心を持ち、それらを生かした旋律を作る学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、和音の移り変わりを生かした旋律を作ることや、曲の構成や全体のまとまりを工夫した旋律をつくることに思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 和音の移り変わりを生かした音楽表現や、曲の構成や全体のまとまりを工夫した音楽表現をするために必要な技能を身につけて旋律をつくっている。 		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
6	音色を生かしたアンサンブルをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏する。 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏する。 〈学習指導要領：器楽ア、イ、ウ〉 〈教材：風のとおり道〉	4	曲想、楽器の特徴、基礎的な奏法、声部の役割と全体の響きとの関わりなどに関心を持ち、それらを生かし曲にふさわしい音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を味わう、楽器の特徴を理解する、基礎的な奏法を生かす、声部の役割と全体の響きとの関わりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
7	曲の仕組みを理解して名曲を鑑賞しよう	<ul style="list-style-type: none"> 動機がどのように使われているのか探りながら「ソナタ形式」の仕組みを理解する。 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わう。 〈学習指導要領：鑑賞ア〉 〈教材：交響曲第5番ハ短調〉	2	オーケストラの響き、動機の反復や変化、ハ短調、動機や旋律の組合せ方、ソナタ形式や構造と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			「交響曲第5番」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
9	声部の重なり方や旋律線の理解と表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、それぞれにふさわしい表現を工夫する。 旋律線を理解し、楽曲の味わいを感じ取って、それにふさわしい表現を工夫する。 多声音楽の仕組みを理解して鑑賞する。 〈学習指導要領：歌唱ア、ウ、鑑賞ア〉 〈教材：翼をください、夏の日の贈りもの、フーガ短調〉	5	<ul style="list-style-type: none"> 旋律線や音の重なり方などに関心を持ち、それを生かした音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 パイプオルガンの音色やフーガの形式などと曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 旋律線や音の重なり方などを知識し、その働きが生み出す曲想を感じながら音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 	<ul style="list-style-type: none"> パイプオルガンの音色やフーガの形式などと曲想との関わりを感じ取り、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	授業の取組 ワークシート 実技	定期考査

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
10	日本の伝統音楽	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歌について、歌詞や旋律などと曲想との関わりを感じ取りながら曲のもつ情緒を味わい、表現を工夫して歌う。 日本の伝統楽器（箏）の基本的な表現技能を身に付ける。 〈学習指導要領：歌唱ア、器楽イ〉 〈教材：さくらさくら、荒城の月他〉	4	<ul style="list-style-type: none"> 日本歌曲の歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 日本の楽器の特徴、基礎的な奏法に関心をもち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本歌曲の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 日本の楽器の音色や奏法の特徴や、音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりを感じ取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本歌曲の曲想にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 日本の楽器の特徴、基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。 		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
11	舞台芸術と音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の特徴や魅力について、他の芸術との関わりを理解しながら鑑賞し、そのよさの根拠を言葉で説明することで、より深く音楽のよさや美しさを味わう。 我が国の伝統音楽の特徴を理解して鑑賞する。 〈学習指導要領：鑑賞ア、イ、ウ〉 〈教材：アイダ、勸進帳〉	3	オペラや歌舞伎について、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。	授業の取組 ワークシート	定期考査
12	混声合唱へのステップ —様々な曲想の表現—	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。 〈学習指導要領：歌唱ア、ウ〉 〈教材：合唱コンクール課題曲、自由曲、卒業式歌〉	8	歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
1									
2									
3	世界各地の歌声	<ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴と声の音色とのかかわりを理解して鑑賞する。 〈学習指導要領：鑑賞ウ〉 〈教材：世界の諸民族の音楽〉	2	世界の諸民族のさまざまな音楽の特徴や多様性、歌声の特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			歌声の特徴や音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、世界の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を理解して鑑賞している。	授業の取組 ワークシート	
年間合計時数			36	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					

第3学年 音楽科年間指導計画及び評価計画

平成28年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
4	日本の歌の美しさを味わおう	<ul style="list-style-type: none"> よい発声で歌唱する。 歌詞の内容や曲想を味わい、それに合わせた歌い方で歌う。 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、よさを味わう。 日本の歌の美しさを味わう。 〈学習指導要領：歌唱ア、鑑賞ア、ウ〉 〈教材：花、荒城の月、早春賦〉	4	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歌の歌詞の内容や曲想に関心をもち、それらを生かした曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心をもち、日本歌曲の鑑賞に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって歌っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歌の歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを理解して、日本歌曲の雰囲気を感受しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
5	声部の重なり方や旋律線の理解と表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、それぞれにふさわしい表現を工夫する。 旋律線を理解し、楽曲の味わいを感じ取って、それにふさわしい表現を工夫する。 全体の響きを感じ取って合わせて歌う。 〈学習指導要領：歌唱ア、ウ〉 〈教材：風の中の青春、旅立ちの日に〉	4	<ul style="list-style-type: none"> 声部の重なり方や旋律線などに関心をもち、それらを生かした音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 声部の重なり方や旋律線などを生かしながら音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって歌っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
6	音色を生かしたアンサンブルをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏する。 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏する。 〈学習指導要領：器楽ア、イ、ウ〉 〈教材：風の通り道〉	4	<ul style="list-style-type: none"> 曲想、楽器の音色、基礎的な奏法、声部の役割と全体の響きとの関わりなどに関心をもち、それらを生かした曲にふさわしい音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を味わう、楽器の音色や基礎的な奏法を生かす、声部の役割と全体の響きとの関わりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもって歌っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 創意工夫を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。 		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
7	舞台芸術と音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の特徴や魅力について、他の芸術との関わりを理解しながら鑑賞し、そのよさの根拠を言葉で説明することで、より深く音楽のよさや美しさを味わう。 〈学習指導要領：鑑賞ア、イ〉 〈教材：アイダ〉	2	<ul style="list-style-type: none"> オペラについて、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。 	授業の取組 ワークシート	定期考査
9	混声合唱へのステップ① —様々な曲想の表現—	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。 〈学習指導要領：歌唱ア、ウ〉 〈教材：合唱コンクール課題曲〉	4	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって歌っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
10	詩に旋律をつけてみよう	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴を感じ取って、それを生かした旋律をつくる。 反復、変化などの構成や、続く感じと終わる感じなどを工夫しながら、まとまりのある旋律をつくることができる。 〈学習指導要領：創作ア、イ〉 〈教材：My Melody〉	2	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や曲の構成、全体のまとまりなどに関心がもたれ、それらを生かした旋律を作る学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、言葉の特徴を生かした旋律を作ることや、曲の構成や全体のまとまりを工夫した旋律をつくることに思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴を生かした音楽表現や、曲の構成や全体のまとまりを工夫した音楽表現をするために必要な技能を身につけて旋律をつくっている。 		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
	音楽から曲想や作曲者の思いを感じ取ろう	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す曲想を感じ取る。 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解し、鑑賞する。 〈学習指導要領：鑑賞ア、イ〉 〈教材：ブルタバ（モルダウ）〉	2	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。 	授業の取組 ワークシート	定期考査
11	世界の歌と音楽	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の特徴を感じ取り、それにふさわしい発声や歌い方を工夫して歌唱表現をする。 諸外国の音楽に接し、それらの味わいを支えている音色や旋律、リズムなどの特徴を感じ取って鑑賞する。 〈学習指導要領：歌唱イ、鑑賞ウ〉 〈教材：帰れソレントへ、ポピュラー曲他、世界の諸民族の音楽〉	4	<ul style="list-style-type: none"> 曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 世界の諸民族の楽器の特徴や音色と音楽の多様性に関心をもち、それらによる音楽の味わいの違いを感じ取って鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 世界の諸民族の楽器の特徴や音色を知覚し、それらによる音楽の味わいの違いを感じ取りながら、音楽の多様性を理解して解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。 	授業の取組 ワークシート 実技	定期考査	
12	日本の伝統音楽や世界の名曲の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統音楽の特徴から、音楽の多様性を理解して鑑賞する。 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わう。 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞する。 〈学習指導要領：鑑賞ア、イ、ウ〉 〈教材：越天楽他〉	2	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連、我が国の伝統音楽や音楽の多様性などに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解する、我が国の伝統音楽の特徴から音楽の多様性を理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	授業の取組 ワークシート	
1	混声合唱へのステップ② —様々な曲想の表現—	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。 〈学習指導要領：歌唱ア、ウ〉 〈教材：合唱コンクール自由曲、学年合唱曲、卒業式歌〉	8	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 	授業の取組 ワークシート 実技		
2									
3									
年間合計時数			36	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					